

令和 2年度 保護者向け 風の丘 評価表

公表：令和 3年 2月 3日

多機能型児童通所支援事業所 風の丘

保護者数 27名、回収数 18名、割合 66.6%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	3		3	車椅子の子が多いので少し手狭な感じがする。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	1		2	
	③	生活空間は、わかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切にされているか	16	2			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	15			3	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17				
	⑥	児童発達・放課後デイ支援計画等には、児童発達・放課後デイ支援ガイドライン等の「提供すべき支援」「本人支援及び移行支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17			1	
	⑦	児童発達支援支援計画に沿った支援が行われているか	17	1			
	⑧	活動プログラムが固定化されんよう工夫されているか	16			2	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5		1	12	特に必要ない

保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1			
	⑪	児童発達・放課後デイ支援ガイドラインの「提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達・放課後デイ支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされているか	15	2		1	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	11	3		4	
	⑬	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来ているか	18				申し送りしたことが皆さんに伝わっており職員間の情報共有がきちんとなされていると感じます
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1			
	⑮	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	6	9	
	⑯	子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備されているとともに、子どもや保護者周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	1		1	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や常時予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2		5	
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	16			2	

非常時の対応	⑳	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15			3	
	㉑	非常災害の発生にそなえ、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14			4	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18				
	㉓	事業所の支援に満足しているか	18				風の丘があることで母子ともに救われています。いつもありがとうございます。

* 発達支援、放課後等デイサービス、重度心身障害児、医療ケア児に関しては、個人の特定を避けるために集約して掲載しております。

○検討課題、改善策

- ・ハード面に関しては、車いす使用の児童が多いためどうしても手狭感がありますが、外遊びや車いすから降ろしての利用など、安全で快適な利用が出来るよう、創意工夫をしてお預かりをしていきたいと思っております。
- ・幼稚園や保育園との交流や意見交換に関しては、医療ケア児・重心児・自閉症児が多数いるため、集団での連携がむずかしいため個々の児童に合わせて交流や連携・意見交換を実施しております。
- ・父母会に関しても利用児童の障がい度が大幅に違うため、父兄全体での保護者会や支援活動が難しい状況ですので、個別の保護者支援を実施しております。
今後は重心児、医療ケア児、自閉症児、発達・知的障害児等のグループ分けをしての父母会の開催や活動支援を模索しております。
- ・会報は年4回、ホームページは適時、活動概要や連絡事項は常時個別に発信しております。
- ・暖かく心温まるお言葉も頂き、ありがとうございました。職員一丸となり良質のサービス提供と療育を心がけていきたいと思っております。

令和 2 年度 風の丘 職員自己評価表

令和3年 2月 3日 公表

		チェック項目	はい	いいえ	改善項目・工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	16	4	遊具の適切な整理でスペース確保を工夫している
	②	職員の配置数は適切である	15	5	重心・医療ケア児に特に不足 保護者の都合に合わせてながら多くの勤務変更和する
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所への設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	2	古いおもちゃ等の廃棄・交換を年一回実施している
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	19	1	毎日の清掃作業や次亜塩素酸水の加湿噴霧をしている
業務改善	⑤	常務改善を進めるためのP D C Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	19	1	日直責任者や利用者の担当制を実施し各職員目標設定している
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	20		出来る限り保護者の要望を受け常時業務改善を進めている
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等でこうかいしているか	20		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	15	5	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	20		施設内研修会を毎月実施し外部での研修会も積極的に参加する

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで児童発達支援計画を作成しているか	20		自発管と担当者で密に連携を取っている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールをしようしているか	20		
	⑫	児童発達・放課後デイ支援計画には、児童発達・放課後デイ支援のガイドラインの「提供すべき支援」、「本人支援及び移行支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内が設定されているか	20		特に担当者が積極的に観察をし自発管と相談・連携をし支援内容の設定を行うようになっている
	⑬	児童発達・放課後デイ支援計画に沿った支援が行われているか	20		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	20		保育士・児童指導員で協力してプログラムを工夫している
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	20		保育士・児童指導員で協力してプログラムを工夫している
	⑯	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適時組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	20		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	19	1	日直職員にて役割分担を毎日決めている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	16	4	帰り支度のバタバタ時を避け時間前に打合せ反省をするようにしている
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	20		PCの申し送りを活用
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	20			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児童支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	20		自発管と担当者が参画
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	20		密に電話連絡し連携を図っている
	㉒	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	20		相談員との連携を密にする事で保育園の就園にむけて話し合いをする場を作ることが出来た
	㉓	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	20		主治医とも相談・指示に対して密に相談している
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20		㉒と同じ
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20		小学校や特別支援学校においても㉒と同じ
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20		計画修正に担当者が係る事で計画を見ることが増えた
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	13	今年はコロナ禍でほとんど実施出来なかった
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	20		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	19	1	保護者との関りが多くなった

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	17	2	保護者に寄り添った支援をもっと心がけたい
保護者への説明責任等	③②	運営規定利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	20		
	③③	児童発達・放課後デイ支援ガイドラインの「提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達・放課後デイサービス支援計画の同意を得ているか	20		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	20		担当者との相談する機会が増えた
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	17	3	重心・医療ケア児・発達障害児の障がいの特性に合わせた連携が必要
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	20		
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	19	1	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしているか	20		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	16	4	コロナ禍で行事がない中療育の工夫をしていく事が出来た

非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	20		
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	20		
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	20		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	20		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20		ヒヤリハット報告書作成し 会議で共有している
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	20		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	20		身体拘束なしの宣言をしている

- 今後もコロナ禍による活動制限や来所困難が考えられる場合は、電話連絡以外の方法での療育支援や連携・連絡方法を多方面で考えていく必要があると考えています。
- 職員のスキルアップ研修や相互連携と協力を積極的に行い、良質な療育環境・勤務環境を職員が一丸となり実施していきます。